

登録コード	EKF21900	開講年度	2026				
授業科目	理科授業分析演習					担当教員	植原 俊晴 他
英文授業名	Science class analysis exercise					副担当	藤森 圭一
単位数	1	講義期間	後期(前半)	曜日・時限	火曜・3時限		履修学年
講義室			授業形態	演習	備考		
信大コンピテンシー該当							
(1)【授業の達成目標】	【授業で得られる「学位授与の方針」】				⇔	【授業の達成目標】	
2 6 E A カリ，2 5 E A カリ，2 4 E A カリ							
教育の専門職としての学識・技能					⇔	理科の授業に関する問題意識に対して，適切な方法で分析することができる。	
2 4 E A カリ							
教育現場の諸課題の背景にある関係構造に気づく視点					⇔	理科の授業を分析した結果について，多面的に解釈することができる。	
子どもの多様なニーズへの対応力					⇔	理科の授業を分析して得られた知見を子ども一人一人に当てはめて考えることができる。	
協働的な問題解決を可能にする人間関係構築力					⇔	理科の授業を多様な視点で分析するために，他者と協働することができる。	
既存の枠組みを超える柔軟な発想力と深い省察力					⇔	理科の授業を分析した結果をこれまでに得られている知見を基にして考察するとともに，そこから新たな問いを見いだすことができる。	
社会の一員である教員として生きる意志と倫理観					⇔	絶えず理科の授業を分析し評価することで，授業改善に努めることができる。	
(2)授業の概要	・ 演習形式で，理科教育学の専門性を基に，理科教育の実践や授業の記録・分析方法について学ぶ。また，各自の理科教育の課題に対応した実践・授業記録を実際に分析・検討し，授業作りにつなげます。 ・ 担当教員が義務教育学校での実務経験をいかして授業を行います。						
(3)授業計画	第1回：理科教育の実践・授業の記録および分析方法についての理論 第2回：理科教育の実践・授業の量的記録に関する記録・分析方法 第3回：理科教育の量的データ分析の演習 第4回：理科教育の事例の記録の量的分析と検討 第5回：理科教育の実践・授業の質的記録に関する記録・分析方法 第6回：理科教育の事例の記録の質的分析と検討 第7回：理科教育の実践・授業記録の分析に基づいた学習過程の改善・構想（レポート提出）						
(4)成績評価の方法	・ 各回の発表内容（40％），質疑応答・議論の内容（20％），およびレポート（40％）によって評価する。 ・ 得点率による評価基準は次のとおりとする。 「秀」90％以上，「優」89-80％，「良」79-70％，「可」69-60％，「不可」60％未満						
(5)履修上の注意	・ 研究課題によって，授業内容や授業日程などを変更することがあります。 ・ 履修に当たっては，自らの研究課題を考慮し，指導教員と相談の上で決定してください。						
(6)質問,相談への対応および連絡先	【質問・相談の対応】 在室のときはいつでも。研究室は西校舎3階315室です。 【連絡先】 メール：t_uehara@shinshu-u.ac.jp 電 話：026-238-4118						
(7)成績評価の基準	「卓越している」：(1)研究課題，(2)理論的枠組み，(3)授業内容と専門性，(4)研究の意義，のすべてについて先行研究の成果と限界に基づいた発表，討議，およびレポート構成が実現できた上で，(1)～(4)のうち3つ以上について発展的な発表，討議，およびレポートが実現できている。 「かなり上である」：上記(1)～(4)すべてについて先行研究の成果と限界に基づいた発表，討議，およびレポート構成が実現できた上で，(1)～(4)のうち2つについて発展的な発表，討議，およびレポートが実現できている。 「やや上にある」：上記(1)～(4)すべてについて先行研究の成果と限界に基づいた発表，討議，およびレポート構成が実現できた上で，(1)～(4)のうちいずれか1つについて発展的な発表，討議，およびレポートが実現できている。 「水準にある」：上記(1)～(4)すべてについて先行研究の成果と限界に基づいた発表，討議，およびレポート構成が実現できている。						
(8)事前事後学習の内容について	【事前学習】質疑応答・討論のための資料を準備してください。また，研究課題に関連した文献等を，図書館等で検索・収集し，研究課題の設定の仕方や研究方法論に着目して要約したり，吟味したりしてください。 【事後学習】質疑応答・討議を通じて生まれた課題について，事後に各自で調べて再検討してください。この授業は45時間の学修を必要とする内容です。従って，30時間以上の時間外学習が必要となります。						
【教科書】	・ 特に指定しません。						
【参考書】	・ 随時，紹介します。						